



市民合唱団の大きな歌声が響いた「第33回のべおか『第九』演奏会」

# 歓喜の歌、高らかに

## のべおか第九演奏会

12/17

第33回のべおか「第九」演奏会が15日、延岡総合文化センター大ホールであり、市民らでつくる合唱団106人がベートーベン作曲の交響曲第9番ニ短調「合唱付き」を声高らかに歌った。主催は、のべおか「第九」を歌う会(今村愛子会長)。

九州交響楽団がベートーベンの「エグモント序曲」を演奏。東京芸大音楽学部指揮科教授の山下一史さんのエネルギッシュな指揮で、歌う会の小学1年生～88歳の団員ら初

めての公募で選ばれた初出演のソリスト4人、同楽団の演奏で「歓喜の歌」を合唱した。

約950人の観客は長時間にわたって出演者に温かい拍手を送った。20年ほど前に歌った経験がある同市浜町の山口福子さん(65)は「演奏も歌も素晴らしく体に染みこんでくるようで感動しました。また歌ってみたいくなりました。来年は孫を連れてきます」と話した。

(7面に関連記事)

2018.12.17